

## 【海外版ホームカミングデー】

### 〈ホームカミングデー in ジャカルタ〉 平成31年2月16日開催

過日、上記日時・場所において、佐賀大学海外版ホームカミングデーが盛大に挙行されました。

本学からは、宮崎学長、寺本理事・副学長をはじめ、インドネシアの協定校と交流のある理工学部日野教授、押川准教授、三島講師、海洋エネルギー研究センター副センター長池上教授、国際交流推進センター山田准教授のほか、国際課関係職員の計10名が参加しました。

来賓として、海外協定校、在インドネシア日本国大使館、国際協力機構(JICA)インドネシア事務所、日本学生支援機構(JASSO)インドネシア事務所、ニットク コンストラクション インドネシア、株式会社ワイビーエム インドネシア事務所、ジャカルタ佐賀県人会、佐賀県地域交流部国際課からご参加いただきました。

参加者は本学の元留学生43名を含む計70名となりました。

本学の海外版ホームカミングデーは、海外の協定校との連携強化および海外在住の卒業生と佐賀大学関係者とのネットワーク構築を目的として、2012年から年1回以上開催しているもので、今回で9回目となります。インドネシアでの開催は、2015年9月のジョグジャカルタ開催に続いて2回目、ジャカルタでの開催は初となりました。

本学とインドネシアの大学との関係は、昭和63(1988)年にガジャマダ大学農学部と部局間学術交流協定を締結して以来、現在までに12の大学間協定と4の部局間協定を締結し、様々な分野で教育・研究の交流を深めています。これまでに本学で学んだインドネシア人留学生は290名以上に上り、大学、政府、企業等、各方面で活躍しているといわれています。

開会の冒頭、佐賀大学を代表して宮崎学長より挨拶が行われ、上述の通り、現在インドネシアと本学とはボゴール農業大学及びガジャマダ大学をはじめとして教育研究の交流を深めていること、インドネシアは今後も本学にとって国際交流の最も重要な地域の一つであることがインドネシア語を交えて述べられ、参加者の関心を大いに引き付けました。

来賓を代表して、在インドネシア日本国大使館山口書記官から、今回のジャカルタ開催に対するお祝いの言葉が述べられ、引き続き、リアウイスラム大学シャリフナルディ学長の乾杯により式が進行しました。

式中、本学で学んだインドネシア人留学生会の発足式が行われ、初代会長のガジャマダ大学・スサムト教授、世話役のヤマハ・ミュージカル・プロダクツ・アジア インデラ氏から、留学生会を通じ、インドネシアにおける佐賀大学関係者の連携を深めていきたい旨の挨拶がなされました。今後の留学生会の発展を期待し、宮崎学長から上記2名に佐賀大学友好特使を委嘱しました。

他に、寺本理事・副学長から「佐賀大学のいまとこれから」と題して、美術館・図書館を含め、本庄、有田、鍋島キャンパスの各部局・施設についてそれぞれインドネシア

語を含めた紹介がスライド上映で行われ、年配の卒業生の中には、現在のキャンパスの様子に驚いている方もいらっしゃいました。

元留学生からの自己紹介では、5人の元留学生から、佐賀大学での留学時代の思い出や近況報告が日本語を交えてのスピーチがあり、参加した元留学生との間で親交を深めました。

最後に、ボゴール農業大学エリカ ブティアルティ ラコニ副学長からの閉会の挨拶があり、別れを惜しみつつ再会を約し閉会となりました。



会場の様子



来賓挨拶(山口一等書記官)



乾杯(リアイスラム Syafrinaldi 学長)



インドネシア人留学生会発足式(Susanto 教授)



友好特使任命 (Indra 氏)



佐賀大学のいまとこれから（寺本理事）



元留学生紹介 (Marita 氏)



ゴール農業大学  
Erika 副学長)



会場の様子



記念撮影に応じる宮崎学長



HCD 開催ホテル（外観）





集合写真